

件 名 : 大 臣 臨 時 会 見 概 要

日 時	平成 26 年 5 月 30 日 2008～2009 (日本時間)	担 当	大臣官房広報課
場 所	シャングリラホテル 4 階ぶら下 がり	備 考	I I S S 大臣訪星 (日米豪三国間会談後)

1 発表事項

なし。

2 質疑応答

Q：三国間の日米豪の会談を終えられて一言お願いします。

A：日米豪の新たな協力の重要性というのをよく感じました。やはり、この太平洋を含めた東アジアの安定のためには、共通の価値観を持つ日米豪の連携、これは大変重要だと思います。今日、改めてその強さを感じることができました。

Q：地域情勢について何か一致した点がありましたらお願いします。

A：これは私の方から、中国の戦闘機が近接した事案について説明をし、やはり力による一方的な威嚇や変更は決してあってはならないということについては、両国とも同じ考えを持っていただけたと思います。また、北朝鮮に対しての問題についても、これは丁度昨日、拉致問題の進展があったということで、ただ、これはこれとして、やはり核・ミサイルを今後ともしっかり解決するためにも、日米豪の連携が必要だということで一致したと思います。

以 上